学校番号	３０２６

令和８年度　グローバル探究科

教科	（学） グローバル 探究科	科目	（学）IB 美術 SL	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	－						
副教材等	－						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

IB 美術は、生徒が自らの創造的かつ文化的な可能性と限界に挑戦することを奨励します。これは思考を刺激するコースで、生徒は技法の習熟を目指し、芸術作品の制作者としての自信をつけると同時に、問題解決と独創的思考における分析的なスキルを育みます。生徒は、異なる文脈で美術を探究し、比較することに加え、同時代の芸術活動および表現手段と幅広く関わり、体験し、また批判的に振り返ることが求められます。

2　学習の到達目標

１．特定の学習内容の知識と理解、その応用と分析
２．総合し分析、判断する力
３．適切な技能や技法の選択、活用、および応用

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		①　批判の方法 ②　フォトモンタージュ ③　テーマの考察 ④　線画 ⑤　透視図法 ⑥　構図 ⑦　色彩理論 ⑧　作家研究 ⑨　印刷 ⑩　立体	・作品を異なる文化的文脈から考察し、比較することができる。 ・異なる技法がなぜ、どのように発達してきたか、またその発展の過程を調査し、比較することができる。 ・視覚的および記述的手段を通したコミュニケーションの方法を探究し、知識と理解を最も効果的に伝えることができる。 ・研究と批判的思考、技法の実験の過程を経て芸術作品を制作する。 ・多様なメディアを実験し、作品制作のための技法を探究する。 ・技能、技法、および表現手段によって特徴づけられる制作過程を通して作品概念を発展させる。	・作家研究スライド ・つながりの研究練習スライド ・コラージュ作品 ・平面作品 ・立体作品 ・版画作品 ・つながりの研究素案 ・作品制作のポートフォリオ練習ス ライド ・ジャーナル		
2		・理論的実践 →つながりの研究ガイダンス →分析・比較の練習 ・作品制作の実践 →形式的特性 文化的文脈 機能と特性				
3		・理論的実践 →つながりの研究：作家決定 ・作品制作の実践 →ポートフォリオ作成の実習 ・キュレーションの実践				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度